



藤本 みのる 通信

Vol 360

2020年10月27日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

公金横領で市議会の責務は

小林市長が「公金紛失」を発表して6日目、今度は「公金横領」を発表した。被害者なのか、当事者なのか、二度の謝罪会見は全く違う意味になったのではないかと。部下に裏切られたという前に、なぜ公金が長期に机の引き出しに入れてあったのか、本来の管理マニュアルと違っていただけとすれば、今後どうすれば適正に公金管理ができるのかを、市長は謝罪会見の中で深掘りしなくてはならなかった。

新聞やテレビも大きく取り上げたので市民のショックは相当なものだ。市の信頼は地に落ちたといつて良い。それだけに、市民代表である市議会の厳しいチェックが求められている。簡単に公金横領できてしまう状況がどのように生まれたのか、非正規職員が大金を一人で管理して管理職員が保管場所すら知らないで責任が果たせるのか、非正規職員の「人事異動」のあり方も含めて、当局の打ち出す原因究明と再発防止策について、一つ一つ厳しく「チェック」と「確認」をすることが求められている。市議会の真剣な取り組みが待たれている。

議会説明（臨時全協）資料から
〈経過概要〉

10月12日（月）

公金紛失が判明

（シルバーお出かけパス負担金）

10月15日（木）

大月警察署に電話し相談始まる

10月16日（金）

記者発表

10月17日（土）

午前 福祉課職員から連絡があり、
聞き取りをする

午後 市長へ報告

10月19日（月）

横領した全額が返済される

10月20日（火）

福祉課職員及び保健介護課職員から
使い込んだ旨の報告の再確認

10月21日（水）

大月市職員分限懲戒諮問会開催

10月22日（木）

記者発表

【藤本みのる活動日誌】

10月 9日（金） 社会保障推進協議会自治体キャラバン（同席）

10月16日（金） 議員定例懇談会、特別委員会

10月26日（月） 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会